

2023

国際交流合宿 in 清里高原



目次

はじめに、合宿の概要、参加者名簿	1
写真で振り返る活動内容	3
班別発表会、ヒューマンライブラリー	6
アンケート集計結果	9
合宿感想文集	12

発行：東京学芸大学国際交流／留学生
センター

国際交流合宿 2023 報告書

2023年5月27日～28日

○ はじめに

国際交流合宿は、今年で12回目、コロナ禍があり4年ぶりになりました。清里高原も2010年夏、2018年5月から3回目です。参加者は42名となり、大型バスいっぱいの盛況となりました。例年と比べ、日本人学生の参加が多く、タイのシラパコーン大学のプログラムの学生がプログラムごと参加したのも初めてです。中国、韓国、台湾のほかに、ポーランド、ウクライナ、ドイツの学生も参加して、中国語、韓国語、タイ語、英語などが飛び交う合宿になりました。清里高原ということで、牧場体験や滝・草原をめぐるハイキングなど自然の中での活動、また、合宿所では、交流会・ヒューマンライブラリー、班別発表会を通して、相互理解を楽しく深められた充実した合宿となりました。コロナ禍も経たからこそ対面でのこのような活動の楽しさ、重要性が際立ったことと思います。今後も、引き続きこのような活動を継続していきたいと考えています。

引率代表：国際交流／留学生センター 岡 智之

● 合宿の概要

日程： 2023年5月27日（土）～28日（日）1泊2日

場所： 埼玉県山梨県清里高原（宿舎：小金井市立清里山荘：山梨県北杜市高根町清里）

参加者：学生42名（日本16、タイ11、中国6（内香港2）、台湾1、韓国3、ポーランド2、ウクライナ1、ドイツ1）、引率教員2名（岡、伊能）

スケジュール：

- 27日 8時正門前集合、出発—バス内活動—12時半滝澤牧場到着
 - 12時半—昼食、14時—16時 牧場体験（乗馬、牛の乳しぼりなど）
 - 17時 宿舎チェックイン 18時—19時 夕食
 - 19時半—21時 <研修室>交流会（1時間）、ヒューマンライブラリー（30分）、（入浴 21:20-22:00）,23時就寝
- 28日 7時 起床 7時半 朝食—朝食後チェックアウト
 - 8時半 <外> 体操・太極拳 9時 <体育館> スポーツなど～9時45分
 - 10時 <研修室>班別発表会、12時 昼食
 - 13時 宿舎出発— 見学（Keep 牧場～吐竜の滝）
 - 19時過ぎ 大学到着

● 参加者名簿

呉安琦	交換留学生	香港
劉穎欣 LAU Wing Yan	交換留学生	香港
Zofia Anna Prazuch	交換留学生	Poland
ゴンタレク マルゴジャタ	交換留学生	Poland
Salan Marharyta	交換留学生	ukrainian
KIM YUNJI	交換留学生	韓国

金ユミン	交換留学生	韓国
Kim Minjae	交換留学生	韓国
Nutchapol Thanetset	シラパコーンプログラム	タイ
チャーラーヨンナクupp シーン	シラパコーンプログラム	タイ
ファールンサーン プンナパー	シラパコーンプログラム	タイ
スックサムアーン タナパット	シラパコーンプログラム	タイ
ニチャートーン	シラパコーンプログラム	タイ
ケン克蘭 オーラニー	シラパコーンプログラム	タイ
バンナーサート カノックポー	シラパコーンプログラム	タイ
ポーノイ ハタイチャノック	シラパコーンプログラム	タイ
サエンコシック タツスパー	シラパコーンプログラム	タイ
パンコート ティティラット	シラパコーンプログラム	タイ
トンラックユー クリッタメート	シラパコーンプログラム	タイ
郭ギゼン	交換留学生	台湾
張啓明	交換留学生	中国
包暎光	研究生	中国
フスレ	研究生	中国
包 雅叶慧	E 類多文化共生教育コース1年	中国
蘇 悠希	研究生	中国
レフラ・アンナ	交換留学生	ドイツ
小坂沙里	E 類多文化3年	日本
小川奉実	A 類1年	日本
河野莉子	A 類英語選修・3年	日本
池田晴哉	B 類英語・2年	日本
野村由羽	E 類表現教育3年	日本
小宮澄夏	E 類多文化共生教育コース・2年	日本
武村愛雛	A 類国語選修日本語教育コース2年	日本
今泉優佳	A 類英語選修・2年	日本
市原七琉	E 類多言語多文化サブコース2年	日本
萩原未結	E 類多文化共生教育コース・2年	日本
木村りさ	E 類多文化共生教育4年	日本
服部叶佳	A 類国語、1年	日本
吉岡美織	E 類多文化共生教育1年	日本
久保明日美	E 類カウンセリングコース・3年	日本
川口みな	A 類国語選修日本語教育コース3年	日本
條川 さくら	大学院 教育実践専門職高度化専攻(保健体育)・1年	日本

写真で振り返る活動内容

1日目

8時集合 バスに乗車



食後のアイスクリーム



乗馬体験



滝澤牧場到着 昼食



牛の乳しぼり体験



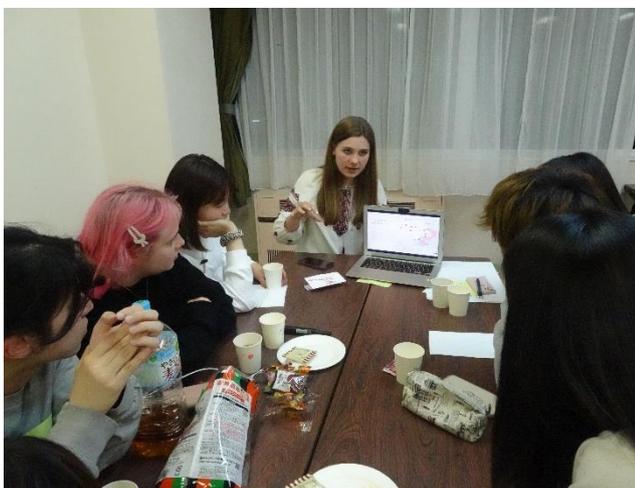
童心にかえって



交流会



ヒューマンライブラリー



2日目

朝食



班別発表会（世界の学生生活）

体育館で太極拳（陳式太極刀演武）



世界の文化（折り紙体験）



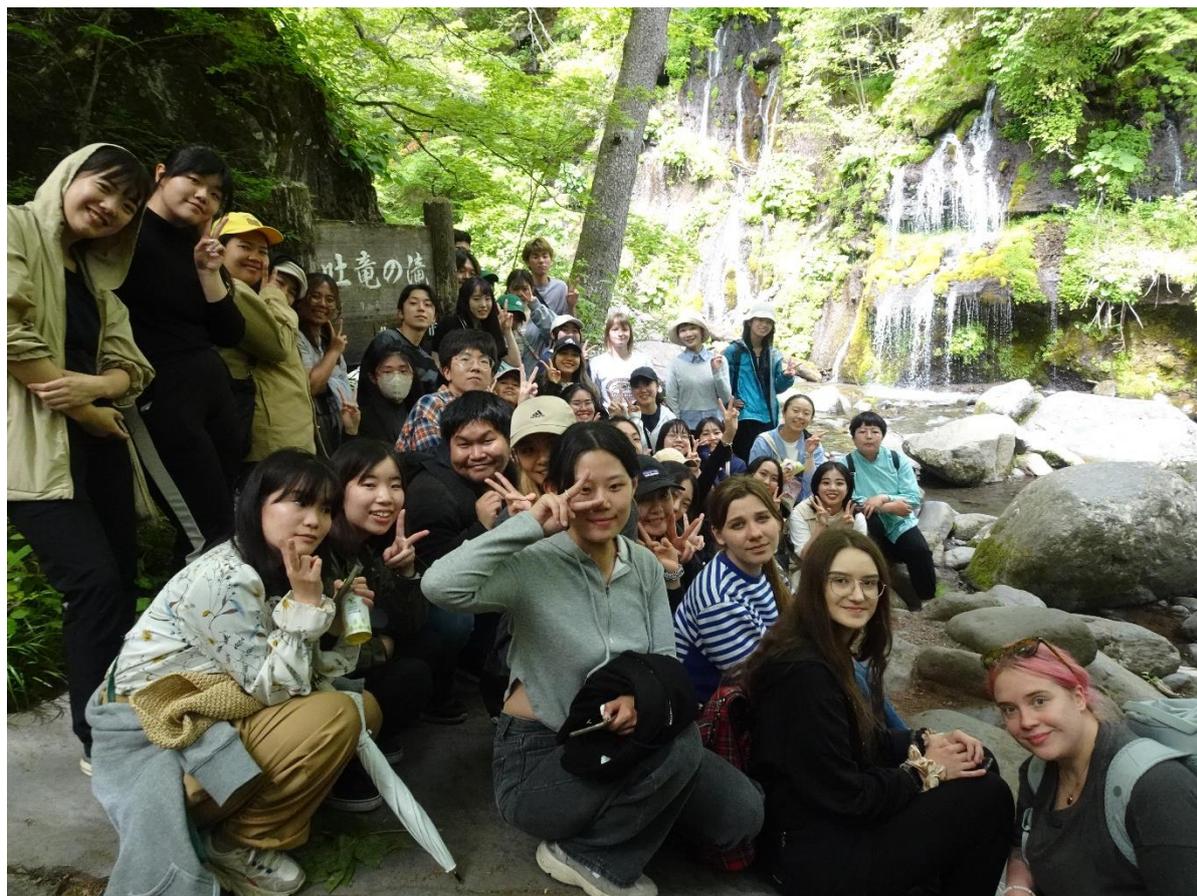
世界の音楽とダンス（クラシックバレエ）



イントロクイズ



吐竜の滝で記念撮影



険しい山道を行く

平原に到着—富士山をバックにポ〜ズ



●班別発表会 2日目 9時半〜11時50分

- ・世界の学生生活 (40分) …日本 (木村、野村、川口) →韓国 (金ユンジ) →中国 (張、郭) →香港 (劉、呉) →ドイツ (アンナ) →タイ (ファールンサーン、スックサムアーン、ヌッチャボル、ニチャー-ton、ケン克蘭)
- ・世界の文化 (40分) …ポーランド (ゴンタレク、ゾフィア)、日本の書道・折り紙体験 (今泉、武村、

河野、久保、服部、金ユミン)、タイの祭り(蘇、チャラーヨンナクップ、バンナーサート、ポーノイ、サエンコシック、パンコート、トンラックユ)、

・世界の音楽とダンス(40分)…クラシックバレエ(條川)、中国(蔡)、K-pop(吉岡)日本(市原、萩原、小川奉実、包雅)

ヒューマンライブラリー タイトルとあらすじ 感想

1. 「わたしの高校の変な行事とコロナ」

<あらすじ> わたしは日本の東北地方の宮城県にある、ある伝統校に通っていました。この高校は今年で創立131周年を迎える高校で、長く深い歴史があります。そして、この高校には日本の伝統校にありがちな、日本らしいたくさんの変な行事があります。例えば、応援歌指導、アピール行進、定期戦、応援団などです。私たちが通っていた3年間はコロナでその伝統の存続も危ぶまれましたが、形を変えながら私たちは伝統を受け継ぎました。あらすじでは書ききれないくらいの不思議な伝統とその魅力、そしてコロナ禍の3年間の私たちの奮闘と成長を紹介します。

<「本」をやった感想> 日本語をわかってもらうのが大変だったが、何とか伝えられた。

<読者の感想> はじめて聞いた。おもしろかったです。／とても面白かったと思います。／とてもよかったです。

2. 「自分トレカの経験について」

<あらすじ> 自分のトレカ(トレーディングカードゲーム)について話します。トレカは何かを紹介します。自分はなぜトレカに興味があるのか理由を説明します。いつトレカを始めたのかを話します。自分がしたトレカを紹介します。そして、自分のタイで経験と日本で経験、何が違うか話します。最後は日本で大会の経験を話します

<「本」をやった感想> 自分の話をよく話せました。

<読者の感想> 日本のオタクに負けないくらいカードに詳しくて話を聞いていて楽しかった。／面白くていい経験でした。／とてもよかったです。でも時間が足りなくてちょっと残念でした。

3. 「Taiwan」

<あらすじ> 日本で日本語の不自由な外国人を母に持つ、とある子供のお話。

宜蘭縣羅東にある、とある小学校に通っていた当時幼稚園児だった女の子の話と、15年後その女の子がTAとしてその小学校に二週間通った経験からみる台湾の小学校についてなど。

<「本」をやった感想> 聞いてくれた人と話し合い出来てよかった。準備が大変。

<読者の感想> 少し重い話だったけど、日本にいる外国人の扱われ方について色々話した、楽しかったです。／外国人として、同じ困ることを感じました。

4. 「内モンゴルについて」

<あらすじ> 先ず、内モンゴルはどういう所かを外モンゴルに比べて紹介し、そして内モンゴルの祭りの紹介と観光サポートを紹介したいと思います。中では、第一部の所が一番詳しく、内モンゴルの地

区、民族、言語、生活習慣を中心に紹介しながら、外モンゴルとの違いを紹介します。最後に、内モンゴルから日本への影響や日本人に質問されやすい面白い問題などを皆さんに話していきたいと思います。

<「本」をやった感想>皆さん、内モンゴルに興味を持ってくれてとてもうれしかったです。

<読者の感想>内モンゴルについて本当に興味深い話をしてくれて役に立ったし面白かった。／内モンゴルについて色々しれて勉強になりました／面白いです／知らなかった内モンゴルの話をたくさん聞けてとても興味深かったです。外モンゴルとの違いもトピックごとにわかりやすく説明してくださり、観光地の紹介もとても素敵でした／参加者のことをとても考えてくれていたような丁寧なプレゼンで本当に聞けて良かったです。内モンゴルの写真や動画を見て内モンゴルを身近に感じることができました！ありがとうございました！／すごく充実してて上手な発表でした!!今までなじみがなかった内モンゴルについてたくさん知れて嬉しかったです。特にフスレさんが住んでいたというので興味深かったです。

5. Ukrainian culture in the circumstances of war.

<Summary> First of all, I am going to present my motherland and tell about the basic things, such as geographical occupation, history and origin, population etc. The next thesis of my presentation will explain what culture is general and for Ukrainians. Nowadays, Ukrainians faced serious problems, humanitarian crisis, war, occupation of territories by Russians. However, people don't give up and continue fighting and even creating a modern era of Ukrainian culture. By the way, I would like to introduce how Ukrainians saved and continue saving their heritage under the pression of USRR, Moscow. In the presentation I want to show incredible stories of Ukrainians of different age, sex and social status, who create new trends in my country and fight for freedom.

<読者の感想> Informative and provocative, touching. / 戦争があつたにもかかわらず一般の人々の生活が続いていることを見たのが印象的でした。／good presentation / 戦争下でも文化を守る活動が行われているのが素晴らしいと感じた。／I felt really sad after I heard about war and I hope that war will stop as fast as possible.／ウクライナの魅力を沢山学べた。お話しているマルガリタのお顔がイキイキしてかわいかった。

6. 「日中の小学校教育について」

<あらすじ>日中の教育は、昔から（隋や唐の時代以降）繋がりががあります。日本の天皇は、儒教の掲げる「仁・義・礼・智・信」を体現して、日本に一定の改革を断行し、隋・唐の海上シルクロードの完成後は、多くの天皇が何度も中国に使節を派遣したが、そのたびにその数は100人を超えた。なので、現在の学校教育で日中教育の良さをどう伝え両国の成功したところをどう伝え、今後の両国の学校教育でどう運用するかを考察したい。

<読者の感想>すばらしい／日本と中国の教育を現役の先生の視点も交えて話してくれてたくさん新しい発見がありました。とても勉強になりました／中国の教育についてある程度知ることができた。また本の方の意見を聞けて少し参考になった／実際に海外の人と教育について話すことで、日本の教育を改めて客観的に見直す機会にもなりました。

2023 夏 国際交流合宿アンケート集計結果

2023 夏国際交流合宿にご参加ありがとうございました。今後の合宿の発展のために、次の質問にお答えください。

1. 合宿の日程はどうでしたか？ よかった 30 普通 9 よくない 0

(コメント：この時期の土日、とても行きやすかったです)

2. 合宿の場所はどうでしたか？ よかった 31 普通 8 よくない 1

(コメント：滝は美しいが遠い。／清里楽しかったです／牧場と山と色々なアクティビティがあるところでバリエーション豊富だった／自然豊かでよかったです！一人じゃ絶対行かない場所だったので素敵な思い出になりました／空気が気持ちよく施設もきれいだった／寒すぎず良かった。／気候もちょうどよくて快適でした。)

3. バス内活動はどうでしたか？ よかった 29 普通 10 よくない 2

(コメント：隣の人と仲を深めることができた。／ポニョがよかった／スタッフが頑張ってくれて楽しく過ごせました／他己紹介は相手にたくさん話を聞けるので楽しかった／クイズ面白かったです／I don't like sitting separated from my friends./ 肩の力を抜いて参加できるアクティビティが多くてよかったです／隣、近くの席の人と話しやすかった／日本語が難しい人にとっては理解・参加しにくかったと思った／ゲームと映画の時間のバランスが良くて楽しかったです。／寝てました。)

4. 牧場体験はどうでしたか？ よかった 38 普通 4 よくない 0

(コメント：乗馬も乳しぼりもいい体験になった／楽しかったし、ソフトクリームもおいしかったです／餌あげたり乳絞ったり、少し散歩したり、たくさん話すことができよかった／いろいろな動物と触れ合えたのがよかったです／アイスクリームがおいしかったです。乳しぼりや乗馬体験はもう少し長く体験したかったです！／散歩だけじゃなくて体験ができたから満足感があつた／フリータイムも多く、キツキツでなくてよい。／なかなかできない体験ができて忘れられない思い出になりました。／ソフトクリーム good。動物かわいい。)

5. 交流会はどうでしたか？ よかった 30 普通 3 よくない 0

(コメント：もう少し段取りよくすればよかった／みんなと仲良くできて良かったです／言葉を聞わず参加できるイベントが楽しめた。／とても盛り上がれました／とても盛り上がり仲が深まったので嬉しかったです／盛り上がりよかった／新しく班分けしたことでまた知らない人と仲良くなれてよかったし、楽しかった！／交流会担当でしたが、みんな楽しんでくれて良かったです！)

6. 宿舎はどうでしたか？ (施設・食事など)

よかった 22 普通 17 よくない 0

(コメント：山荘がきれいかったです。／住みやすく食事もおいしかったです／スタッフの方も優しくごはんもおいしかったです。wifi がないのが不便だったのと、大部屋と大浴場に慣れていない子たちがいて、ちょっとかわいそうでした／wifi がもっとあったらよかったです。／虫が少なくてよかった。様式のトイレが多いと嬉しいです。ごはんバイキングで楽しかったです／wifi が部屋で繋がらずその点だけ不便した／There's no detail about accommodation before coming and I didn't expect the rest room to be Japanese-style/ 和式トイレしかないし、電波が悪かったのがよくなかった／通

信環境が悪かった／食事もおいしくて、ビュッフェなので調整ができて良かったです。／食事がおいしかった。トイレに洋式があればよかった。ふろ場時計ほしい。)

7. 発表会はどうでしたか？ よかった 32 普通 4 よくない 0

○ 自分のした発表の感想：

video を試したらよかった。 / 緊張したけど楽しかった / 緊張してうまく話せないことが残念だった。 / ドイツの国歌を間違えてしまったのが申し訳なかった。 / まだ言い切れず残りの内容まだあります。 / とても緊張してちゃんと伝わったかどうか？ / 短く多くの人の発表を聞いて良かった / 盛り上がってもらえてよかったです / 友達と発表してたのしかったです。 / イン트로クイズをしました。盛り上がってくれてよかったです。 / 緊張過ぎてあんまり話しできなかった / みんなが盛り上がってくれて嬉しかった / 日本と違いが分かりやすかった / みんながどういうところを面白いと思ってくれるか分からないまま発表を作りましたが、みんな日常的なポイントを面白がってくれていて参考になりました。 / みんなに楽しんでもらえた / ビデオが開けないからちょっと残念 / 折り紙を折って喜んでもらえてよかった。 / 体験をする活動をしました。楽しんでくれて、持ち帰りを嬉しそうにしてくれました。 / 発表の時に、ちょっと不安になりました。 / 友達と発表して楽しかったと思います。 / 緊張した。反響がうれしかった。 / 時間はちょっと少ないです。

○ 一番よかった発表とコメント？

・ 世界の学生生活

台湾の学生生活。自分が考えたことなかった現状を聞いてびっくりした。いろんな国出身の人から直接話が聞いて新鮮でした / 普段聞けない太陽だったので / 日本との違いを知れるのが一番おもしろかった！ / ドイツの生活。英語だったけど、魅力が伝わった。ドイツに行きたくなった / 各国の生活についてのプレゼンはたくさんの方が知れて楽しかったです！ / おもしろかった。留学したいと思った。

・ 世界の文化

タイの祭りの発表がおもしろかったです。 / 祭りについていろいろしれて楽しかった / 日本の折り紙でした。楽しめるのが良かったと思います。 / 中国の祭り。映像美 / 中国の文化の説明動画。高等説明も含めてクオリティが高かったです /

・ 世界の音楽とダンス

音楽が盛り上がった。 / 日本の曲 / 日本の音楽 / 音楽のクイズが面白かったです / 曲のクイズ / 音楽のイントロクイズが楽しかったです。留学生のみんなが日本の曲をたくさん知っていて嬉しくなりました。 / イン트로、国歌はグレーゾーン / バレー、手のダンスがエレガント (清里も関係があるから) /

・ 全体

全部よかった。学生生活のグループは、どの国も色々詳しく話してくれて、国によってさまざまな生活をしていることがわかって面白かったです。文化グループも、その国のこととか、特色のある何かを色々知れて、「地球の歩き方」を読んでも知ることができないことだらけで面白かったです。 / 何の発表でもいいと思います / 日本文化だけでなく、他の国の文化を同時に知れて楽しかった / どの国も工夫されたスライドとプレゼンで面白かった /

8. 次に合宿をやるとしたら、いつどこがいいですか。

秋に静岡で／海の近くとか／北海道 3／沖縄 4／10月の後、秋 4／大分県／東京に近いところ、関東近辺／初島も「さるとび」があって楽しいです／夏休み前 2／熱海／箱根 3／紅葉の季節に紅葉狩りができるところ／軽井沢 2／関西／九州／7月富士山／日光／栃木／清里

9. その他、気づいたことなど、自由に感想をお書きください。

・岡先生、伊能先生、大変お疲れさまでした。全力で責任を持つ姿が印象に残りました。／多くの人たちと話せてよかった。また行きたい／合宿の発表までの準備の時間が短かったので、もっと時間があればもっとクオリティの高いことができたのかなと思いました。もう少し色々詳細な情報を、行く前にもらいたかったです。2日間楽しかったです。また是非参加したいです。ありがとうございました!!／料理の中にもっとたんぱくがあればよかったと思います。来る前にもっと情報を教えてくれればいいと思います。／留学生の方が結構日本語を話せること、私も英語を使って少しコミュニケーション取れて嬉しかったです／いろいろな国の人と話せて楽しかったです／ふだんなかなか留学生や他学科、他学年の子たちと関わることがなかったのでこのような素敵な機会を作ってください感謝しています!!!楽しかったです／過去のアンケートの結果を生かすともっといいと思いました／とても楽しかった。色々な国の人とたくさん話せて楽しかった。／日本人の友達ができました。みんなやさしい人です。／疲れたけど、楽しいです。みんなもやさしいです。／最初は緊張しましたが、色々なアクティビティや自由時間もあったので、交流が広がって本当に楽しく、かけがえのない経験になりました。本当に充実した2日間でした。ありがとうございました!／楽しかった!! 大学院生も加えてくださり、ありがとうございました。／いい経験でした。ありがとうございました。

国際交流合宿感想文（多文化共修科目 A 受講者）

私は今回の国際交流合宿に参加して、多くの留学生と交流したことで自国と他国の文化を比べたり、お互いの持つ文化について語り合ったり知り合ったりすることの面白さを再確認することができました。私はまだ留学の経験がなく、自分の「当たり前」な生活から離れたことがあまりないのですが、留学生から「日本のこの習慣はとても不思議だよ」とか、「これは日本に来て初めての経験だ」という声を直接聞くことができたために、自分が日々行なっていて当たり前であると感じている日常が、日本に住んでいるからこそその独特な習慣であるという事実をはっきりと認識することができました。それが「日本以外の国の文化を私も体験してみたい」という他文化への興味にも繋がりましたし、「日本独自の文化を大切にしたい」という自文化への愛情にも繋がりました。

具体的には、例えば大浴場を経験したことのない方々が他人に裸を晒すことに対して躊躇をしていたり、納豆を食べたことのない方が初めて納豆を食べて苦手そうにしたりしていたのを見て、日本での習慣が自分の想像以上に独特なものであったことを思い知らされました。もちろん私の考える「当たり前」と他者が考える「当たり前」は異なるため、無理に強要することはいけないと思いますし、異なるからといって非難することは社会において無くさなくてはいけないことであると思います。しかし、私自身は温泉がとても好きだし納豆も自宅の冷蔵庫にストックがあるほど週に何回も食べているため、このような私の好む日本の習慣が海外の方にも受け入れてもらうことができれば、それはとても嬉しいことであると思いました。そのため、私が他文化を経験するという機会が与えられた際は自分の中にある固定観念をできるだけなくして、まっさらな状態でさまざまなことを受け入れてみたいと思いました。それでこそより自文化を特別に思えるのだと感じます。

今回の合宿ではただ遊んでコミュニケーションを取るだけでなく、ヒューマンライブラリーや班別発表会といったような学びを得る機会もあったためにより有意義な国際交流になったと思います。班別発表会で各国の大学生活について学んだことは、自分が今後留学の計画を立てる上でもとても役に立つことであると感じました。私も留学に行った際は今回留学生が行っていたように、日本の特徴や魅力を最大限伝えられようになりたいです。そのためにもこれからより沢山の人々とコミュニケーションを交わすことで他者の経験や文化に詳しくなると同時に、自分の生活や自分が持つ文化をより特別視して誇りに思えるようになりたいと思います。とにかく、この合宿を通じて楽しい経験や遊びと共に多くの友達を作ることができ、沢山の新しい知識を得ることができてとても充実した土日を過ごすことができました。ありがとうございました。

今回の合宿を通して「人から話しかけられるのを待っていたら決して人との繋がりは広がっていかない」ということを、身をもって感じました。また、2日間みんなと過ごす中で率直に感じたのは、「みんな結局、自分の出身国や地域が同じ人、話す言語が同じ人、もともと友達だった人と一緒にいるのが心地よい」ということです。

私が国際交流合宿に参加する上で、事前に決めていたことがありました。それは「参加しているすべての国の人と話す！」ということです。他の人からしたら普通のことかもしれないけど、私は人見知り

で初対面の人に自分から話しかけに行くのが得意ではないので、私にとっては大きなチャレンジでした。そうは言っても緊張していたし、心のどこかで「自分で積極的に合宿に参加するほどの人たちだから、みんな新しい友達を作ったりたくさん話して交流したりすることを期待して来ているのだろう」と思っていたので、待っていれば誰かに話しかけてもらえるかなと最初は思っていました。しかし実際は、バスの座席や交流会、ヒューマンライブラリーなど、ペアやグループを誰かに決められた時以外はみんなそれぞれの友達と固まっていて、入り込む隙がないように感じました。牧場での時間が終わっても、ほとんど日本人の友達としか話せていなかったもので、焦ったのと同時に、待ってはいけないんだということに気づくことができました。それからは、食事の時間や自由な時間に自分から話しかけて、名前と出身を聞いて、友達の友達も紹介してもらって...というふうに数珠繋ぎのように新しい友達をたくさん作ることができました。最終的には、タイ・中国・台湾・韓国・ウクライナ・ドイツ・ポーランド・日本の人とお話しすることができ、目標を達成することができました。色々な国の新しい友達がたくさんできたことはとても嬉しかったし、合宿が終わった後も連絡を取り合い、仲良くしてくれる友達があるので、本当に参加してよかったと思いました。

今回の合宿では、新しい発見がたくさんありました。ヒューマンライブラリーでは、日中の教育の違いについて教えていただき、それぞれの良いところをどのように吸収していくかを考えるきっかけになりました。また、話し手を“本”に見立てて、聞き手がその本の“読者”になる、という設定が面白いと思ったし、ただの“少人数グループでの講義”よりも、本を読んでいるように夢中になって聞き入ることができたと思います。班別発表会では、それぞれの国の特色ある発表で、自分の知らなかった世界について知ることができ、とてもワクワクしました。自分たちのグループはイントロクイズを行いました。選曲の段階から色々悩んだ結果、最近流行りのアニメや映画の主題歌を中心に出題しましたが、日本の曲の知名度に驚きました。世界中の人たちが日本の文化に興味を持ってきている気がして嬉しかったです。宿舎にいる間も、広い和室に大人数で雑魚寝することや、知らない人同士で同じお風呂に入ることカルチャーショックを感じている人がいることに、カルチャーショックを受けました。

今回の合宿でできた友達とこれからも交流を続けたり、今後の国際交流のイベントにも積極的に参加したりして、もっと人脈を広げたいと思いました。また、「誰かにある程度強制されないと、国籍や言語が違う人々同士が混じり合うことは難しい」という面白い気づきが得られたので、今後自分の専攻でもある「多文化共生」について考える上で、一つの大事な観点として持っておきたいと思いました。

今回の国際交流合宿に参加して感じたことがたくさんあった。特に、東京学芸大学を通じたたくさんの外国人留学生がたくさんいて、多文化を感じるという点において効果的な場であるということである。普段の授業ではあまり関わることもない留学生との交流を図ることができてとても貴重な経験を得られたと感じた。普段身近に感じることもない異国の文化の違いを学び、価値観の違いや日本独自の視点とは異なったものの見方を知るきっかけになった。

台湾出身の留学生からは中国と台湾の関係など、今現在起こっている問題の話などを聞いた。現在の日本のメディアには報道制限や報道内容の偏りがあり、何を信じたらいいのか、今報道されているニュースは正しいのか分からない状態となっている。そんな中、実際の現地に住む人のお話を聞くことができるのはとても貴重な機会であった。

韓国出身の留学生とは韓流文化の話をした。私自身が韓流文化に興味があったため、現地からみた自国の文化の捉え方を知ることができたのは、異国の文化を一面的にしか見ることのできない状況から脱し、違う角度から見ることのできる第一歩となった。また、日本と韓国の受験制度の話もした。日本では大学受験の際に共通テストを受け、そのあとに各大学での個別試験を受ける。しかし韓国では大学修能試験、いわゆる修能であるが、その一発勝負で合否が決まる。日本の国公立大学と私立大学での受験方法の違いにも驚いていた。

コミュニティが広がり、自分の殻を破る環境にぴったりである。ほとんど初対面の状態の学生が多く、自分とは異なる学科・学年・国の人と関わる機会はなかなかないため、自分から積極的に相手の文化を知るための会話を強られる貴重な合宿であった。素敵な友達もたくさんできて、自分の視野も広がった素敵な2日間であった。

今後の学習や生活にも活かしていきたい。

5/27と5/28に山梨県と長野県をまたいだ国際交流合宿を体験してきた。集まった留学生は日本人を除いて、台湾、中国、韓国、タイ、ポーランド、ドイツ、ウクライナなどといった国からの人たちだ。私たちはこの合宿の中で、滝澤牧場で乳しぼり・乗馬体験、清里山荘での交流会と30分間その人のストーリーを聞く、ヒューマンライブラリー、そしてスポーツに太極拳体験、判別発表会に、吐竜の滝とその先の草原へのハイキングを行った。ここからはこの一泊二日の合宿で私が体験したことと学んだこと、感じたことを書いていく。

まず一日目の牧場での体験について、私は昔から馬が好きだったので行くところ行くところで乗馬する体験があった場合必ず乗ることにしていたので今回も乗れて本当に楽しかった。私の乗った馬はひめちゃんという馬で、今年で10歳だ、これは人間でいうと34歳あたりだといわれた。馬に乗った後は首周りをトントンと軽くたたき、ありがとうと伝える、動物と触れ合うとき欠かせない礼儀だと感じた。乳しぼりは初めての体験だった、牛のお乳は思っていたよりも固く、はじめは少し緊張したが、貴重な体験ができたと思う。またその場で出会った3人の中国人と中国語で交流した。彼女たちと休憩としているとき、現在の中国の塾の実態や、共通テストと中国の高考についての違い、そして自身たちのルーツやコロナについてなど様々なことを中国語で話した。家族以外と中国語でこんなに親しく話すのは珍しく、久しぶりだったのですしおぼつかないところもあったが、彼らは「とても上手だよ、全然おかしくない」と言ってくれた。その日の交流会もたくさん楽しいゲームをしてグループと親睦を深められた。ヒューマンライブラリーでは私はフスレさんの「内モンゴルについて」というお話を聞いた。内モンゴルとモンゴル国の違いや内モンゴルの伝統的な祭りや儀式、食べ物、観光地、特産物など様々なことを教えてくれた。動画や「スーホの白い馬」の絵本や内モンゴルで使われているタテ文字で書かれている本を持ってきてくれて興味深かった。

二日目の太極拳体験では、気の流れを意識した緩急のある動きを体験した。集中して取り組まないといけなかったのが意外と疲れた。先生の太極拳のパフォーマンスも武器を使ったりして生で見られてよかったと思う。班別発表会では私たちのグループは世界の音楽とダンスを発表した。クラシックバレエについてと、J-POP イントロ、そして私は世界の国家イントロクイズのパワーポイントを作りそれを発表した。とても盛り上がったが、ドイツの国家の歌詞がナチス時代のものになっていたらしく、反省

すべきところだと思う。次からはきちんと調べておこうと思った。その後の滝の景色は本当に壮観で、カメラでは表現できないものだったと思った、ハイキングコースも結構ハードだったがけもの道を突き進んでいく感覚はとても楽しかった。いろいろトラブルもあったが、この二日間、英語も中国語も日本語もたくさん話しているんな国の人と交流できた、充実した二日間だった。

